

4月の果実の見通し

区分 品目	入荷量(t)			単価(円/kg)			山形県産前年実績		コメント
	前年実績	前年比 見込 (%)	5か年 平均	前年実績	前年比 見込 (%)	5か年 平均	前年 入荷量 (t)	前年 占有率 (%)	
りんご類	6,747	80	5,777	237	130	270	12	0.2	青森産が殆んどを占める。各産地の在庫量は、前年を大幅に下回っている。4月の弘前の産地在庫は、ふじが前年の80%、王林が80%、ジョナゴールドが70%となっている。全体の入荷量は前年を大幅に下回り、価格は前年を大幅に上回る見込み。
いちご類	4,426	100	5,003	893	103	778	-	0.0	栃木、福岡、佐賀、静岡産中心の入荷となる。栃木は低温や降雪の影響で生育の遅れも見られるが、現在回復してきており、入荷量は前年並みとなる。福岡・佐賀・静岡は生育順調。全体の入荷量は前年並み、価格は前年をやや上回り平年よりも高くなる見込み。
メロン類	1,099	95	1,151	630	103	645	-	0.0	熊本、茨城、静岡産が中心となる。アンデスメロンは熊本が9割以上を占め、4月上旬から出荷が始まり、4月下旬～5月上旬がピークとなる。LAの6玉中心となる。茨城は栽培面積が減少しており、入荷量は前年より1割程度少なくなる。全体の入荷量は前年をやや下回り、価格は前年をやや上回り平年並みとなる見込み。